

## — 特 許 記 事 —

## 最近の製鐵鋼業界に於ける發明

特許出願公告 (昭和 29—7—15)

- | 公告番号      | 發明の名称  | (發明者)                       | 出願人            |
|-----------|--|-----------------------------|----------------|
| 昭 29—4254 | 流動焙焼法の改良<br>微細粒度の磁硫化鉄鉱を流動焙焼するに当り送入空気の一部を炉床下より送入し、残部を流動層内に直接送入する方法        | (小谷幸則, 外2名)                 | 住友化学工業K.K.     |
| 昭 29—4256 | 炉構造物に関する改良   | (レーランド・リニューレン, ジョセフ・ブラツシャー) | インランドスチールコムパニー |
| 昭 29—4257 | 歯車の火焰焼入装置<br>平炉々床部と、瓦斯或は空気噴出口との關係的構造に関するもの                               | (神山忠雄)                      | 石川島重工業K.K.     |
| 昭 29—4261 | 真空管陽極用合金鉄の製造方法<br>真空下に熔融せる鉄にチタン, トリウム, 又はバナジンの一種又は數種を添加し残留ガスを極力減少せんとするもの | (河上益夫)                      | 同人             |

特許出願公告 (昭和 29—7—19)

- |           |  |           |          |
|-----------|--|-----------|----------|
| 昭 29—4403 | 熱風鎔解炉<br>送風管から通ずる吸熱気管を、炉本体の外側に數段の風廻し螺旋板を設けた風箱の中央部を降下させて得る熱風を利用するもの   | (星野信嗣)    | 同人       |
| 昭 29—4405 | 鎔滓の電解による鎔銑又は鎔鋼の脱酸脱硫法<br>鑄鉄又は鋼の鎔解温度に於いて、アルカリ、アルカリ土類及マグネシウムの化合物等を使用して之を被電解質とし電解を行い鎔滓中の Na, Ca, Ba, Mg 等を鎔解面に析出せしめ之等に強力な脱酸脱硫作用を及ぼさしめる方法 | (岩瀬慶三外2名) | 金属材料研究所長 |
| 昭 29—4407 | 鉄鋼用化学研磨液<br>磷酸及び硫酸の何れか1種又は2種を主成分としこれに硝酸、硝酸塩或いはクロム酸の如き酸化剤と弗化物とを混入したもの   | (斎藤長男)    | 三菱電機K.K. |

特許出願公告 (昭和 29—7—26)

- |           |  |  |            |
|-----------|--|--|------------|
| 昭 29—4601 | 熱風鎔解炉<br>炉本体と間隙を存して設けた外殻との間に間仕切熱板を備えて風洞と排気洞とを構成し、該間仕切熱板の内外両面に螺旋熱板を螺旋状に設けてある等。その他再燃室、風洞、予熱室、送風管等の関連装置 | (星野信嗣)   | 同人         |
| 昭 29—4602 | 誘導加熱装置<br>誘導加熱線輪の周囲並びに加工片の支持装置中に配置された水冷材の通路とこの線輪に電力を供給するための回路中に設けられた開閉器等に関するもの                       | (ハロード, アリソン, ストリックランド)<br>ザ・オハイオ・クランクシャフト・コンパニー(米) |            |
| 昭 29—4603 | 抵抗式電気炉と高周波誘導炉とを組合せた焼入用加熱炉<br>内面に電気抵抗線を配置した断熱周壁の外側に高周波誘導加熱線輪を配設したもの                                   | (酒井佐敏)   | 関東特殊製鋼K.K. |
| 昭 29—4604 | 黄鉄鉱の含有硫黄分離方法<br>SO <sub>2</sub> , N <sub>2</sub> 等の加熱不活性瓦斯を利用する炉内の熱処理によつて黄鉄鉱から弛緩結合硫黄原子を除去する方法        | (ジグールト, アルツール, アーネルト)<br>オルクラ, グルーベアクチボラーク(ノルウエイ)  |            |
| 昭 29—4605 | 珪素の少い低炭素フェロクロムの製造法   | (喜多義泰)   | 同人         |

一次的に製造した炭素微量なクロム鉄の珪化物を電気炉に於いてクロム鉄鉱及石灰等と共に熔融し、二次的に酸化製錬する時に酸化チタニウムを添加する方法

昭 29—4607 鑄造装置に正確に計測された分量の融解金属を供給する装置

(ジョン・ラーピン) ザ・ダウ・ケミカル・コンパニー(米)

ダイキャスト機の如き鑄造装置に正確に計測された分量の融解金属を急速に引続いて供給する装置

昭 29—4611 鑄鉄の表面処理法

(林伸太郎外2名) K.K.豊田自動織機製作所

鑄鉄部品を濃アルカリ溶液中で陽極酸化後硫化物溶液に浸漬し更に硝酸又はその塩類液中に浸漬して四三酸化鉄を主とする黒色被膜を生成させる方法

昭 29—4636 水平炭炉用平坦棒

(ハインリツヒ, ボーネンカンフ)

ドクター・シー・オットー・アンド・カンパニー

ゲゼルシャフト・ミット・ベシユレンクテル・バフツング(独)

装入石炭の上面を平坦ならしめる高さは低いが彎曲すること少い棒

特許出願公告 (昭和 29—8—3)

昭 29—4751 キュボラ

(野田満二) 同人

炉内原料溶解部に生じた高熱ガスの利用装置に関するもの

昭 29—4758 鑿型製鉄炉

(遠藤勝治郎, 金森九郎) 八幡製鉄K.K.

逆流防止用送風を行う技管と、吹精用パイプ挿入口とを有する羽口を、その先端の延長線が湯溜のほぼ中心に達する如く通常の羽口とは別箇に炉壁に設置したもの

### 論文寄稿者へお願い

御寄稿の際次の各項を特にお含み願います。

1. 日本語の標題と英文標題とが必ず合致するようにお書き下さい。
2. Synopsis はタイプライター用紙一枚以内に内容を簡単に、且つ日本語の総括と必ず一致するようにお書き下さい。尚シノプシスにはその邦文をお添付願います。
3. 附図の数は寄稿規定通り写真を含めて 10 個以内に止め、それ以上著しく超過する場合は省略又は第 2 報、第 3 報に分けて御寄稿下さい。
4. 附図及写真の挿入箇所は必ず原稿中に御指定下さい。
5. 今後御寄稿の附図及表中の文字は敬文にてお認め下さい。